

「雑談の効用」

テレワークが多くなり、コミュニケーションに悩む人も多いかと思います。

「ZOOM ではどうしても意思疎通がうまくいかない・・・」。

そこで重要になるのが“雑談”です。

雑談は大きな効力があります。

ネット TV,NEWS PICKS の番組「WEEKLY OCHIAI」(5月20日放送分)で藤井薫氏(リクルートキャリア HR 統括編集長)が「雑談の効用は“君はそこにいていいんだよ”という、生産性ベースではない存在肯定」と語り、「雑談がある会社ほど在籍年数が上がる」とも。

また、松本俊彦医師(国立精神・神経医療研究センター 精神保健研究所 薬物依存研究部部长 兼 薬物依存症治療センターセンター長)はコロナの中の依存症ケアに関する記事の中で以下のように述べています。

「(依存症回復) プログラムそのものよりも、プログラム前後の雑談とか一緒に帰るということが大事なんです。それが全然できなくて、“やっぱりオンラインでは寂しい”という人たちもいます。」

参考記事【(BUZZ FEED) 2020年6月12日・「自殺が減っても安心はできない」 新型コロナが人の心にもたらした影響は？ 精神科医の分析】

<https://www.buzzfeed.com/jp/naokoiwanaga/covid-19-toshihiko-matsumoto-1>

関西のある大企業の人事の方は「豊かな会話を心がけています。何が嫌なのか、理解できずに相手を傷つけてしまうこともあります。でも、普段から話をして、ちょっとしたことでも“それは勘弁して、止めてほしい”といえる環境があれば、パワハラなどは生まれにくいんです」と話します。

ZOOM などが多くなっても、あえて雑談の時間を設定する、という一見矛盾した人事が功を奏するかもしれません。

今までのヒント集① - ⑱は

<https://www.rindowkokusai.com/hint>

に掲載されています。

(NEWS PICKS, BUZZ FEED Japan, 両社に著作権許可申請済)

☆☆☆

文責：中條幸子（公認心理師・社会保険労務士）☆☆☆少しでも皆様の日々の対応にお役に立てれば幸いです。随時、情報を出していきます☆☆☆